

復興へのあゆみ vol.16

復興に向けて一。あゆみを進める人を紹介します。

復興だけではなく、 歴史を学ぶきっかけに

平成30年7月豪雨では、大乘寺の近くを流れる河川が氾濫。お寺にも土砂が流れ込みました。お寺の裏山には市指定史跡の吉田藩主伊達家墓所がありますが、大規模な斜面崩落により土砂が流れ込み、石塔や柵、灯籠が壊れるなどの被害を受けました。

発災後には、ボランティアによる土砂の撤去が行われ、崩落斜面の土留めが行われました。現場は急傾斜のためこれまで復旧作業が滞っていましたが、今年の9月から市教育委員会などと連携した復旧作業が本格化しています。今回は単に史跡の復

旧を目指すだけではありません。復旧作業とあわせて、お墓がどのように成り立っているのかなど学術有識者や技術者を招き史跡調査を行うことも目的としています。県下で調査を伴う大名墓の復旧作業は珍しく、2年ほどをかけて調査と復旧を進めていく予定です。

大乘寺の河野徹山老師は、「作業箇所は吉田町三万石の礎を築いた方が安らかにおやすみになっているところ」です。普段はなかなかお墓の作りに触れることはありません。復旧を目指すことはもちろんですが、それだけではなく遺跡調査を行うこと

災害復興掲示板

本庁 ☎24 - 1111

吉田支所 ☎52 - 1111

三間支所 ☎58 - 3311

津島支所 ☎32 - 2721

宇和海支所 ☎62 - 0311

※詳しくは、お問い合わせください。



大乘寺 河野 徹山 老師

profile

大乘寺の裏山にある市指定記念物(史跡)の吉田藩主伊達家墓所。平成30年7月豪雨により裏山が崩れて被災。復旧とあわせて、遺跡調査の研究が進められようとしています。

新規就農者支援関係者による摘果講習会

9月10日(木)、平成30年7月豪雨による被災産業・被災者への新たな復興支援事業の一環として摘果講習会が行われました。

当日は新規就農者6人が参加し、先輩農家からおいしいミカンを作るための摘果の技術やみかん農家としてのやりがいや難しさなどを学びました。



農家の経営方針によって異なる摘果の技術を学ぶ



実際に作業を行う新規就農者

■新規就農者支援コーディネーター

令和元年7月に就任した玉城さん。新規就農者の相談支援や課題解決に向けたサポートを担います。

新規就農者支援コーディネーター (NPOナナの森代表)
玉城さん



崩落した裏山



被災した宇和島藩初代藩主秀宗公 供養碑



ボランティアによる土砂撤去作業

で吉田町の起源につながる何かがあるかも知れません。災害は大変な被害をもたらしましたが、改めて吉田町の史跡が注目されることは前向きに捉えています。これをきっかけに、吉田町の歴史を学んでもらえたいと思います」と話してくれました。